

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

## 1. 建物概要

建物名称	(仮称)西川総合体育館	
建設地	西蒲区 善光寺369他12筆	
用途地域	市街化調整区域	
建物用途	集会所	
竣工年	2013年3月 予定	
敷地面積	9,914.11 m <sup>2</sup>	
建築面積	2,747.73 m <sup>2</sup>	
延床面積	3,777.36 m <sup>2</sup>	
階数	地上2F	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2011年10月17日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{59}{29} = 2.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.2		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.5
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.2		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.4
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.3		建物の熱負荷抑制	5.0
			自然エネルギー利用	3.5
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7		節水	4.0
			リサイクル材の使用	4.0
			再利用可能性向上	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.5		生物環境の保全・創出	3.0
			敷地内温熱環境の向上	4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.5		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	4.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

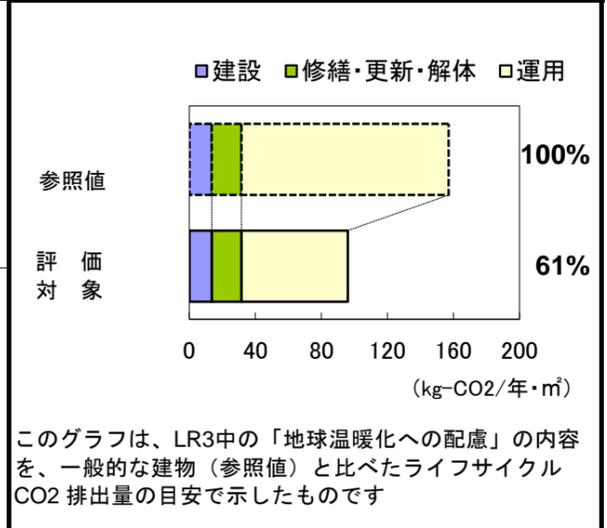
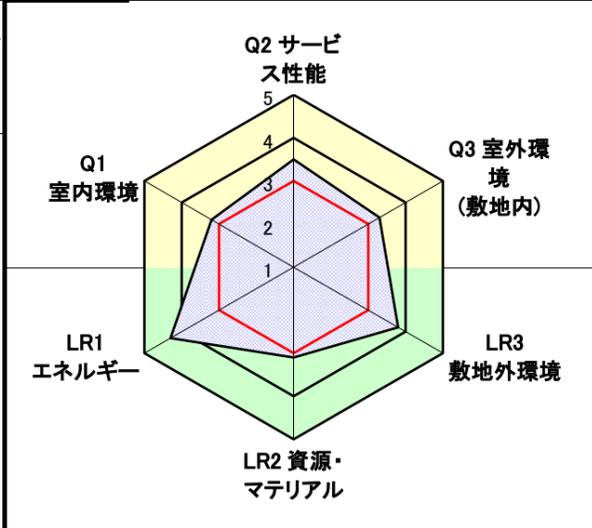
新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。  
 新潟市福祉のまちづくり条例を重視し、設計を行いました。大雨対策として、先行する造成工事にて、雨水流出抑制用の貯水池を設けています。  
 アリーナは、出来るだけ光を取り込む様に考え越窓、トップサイドライトを設置し照明負荷を下げ、自然換気を促す仕掛けとなっています。  
 周囲の水田に対しては、稲の成育期間の日影を確認し、日中日影がない事を確認。

# CASBEE®新潟

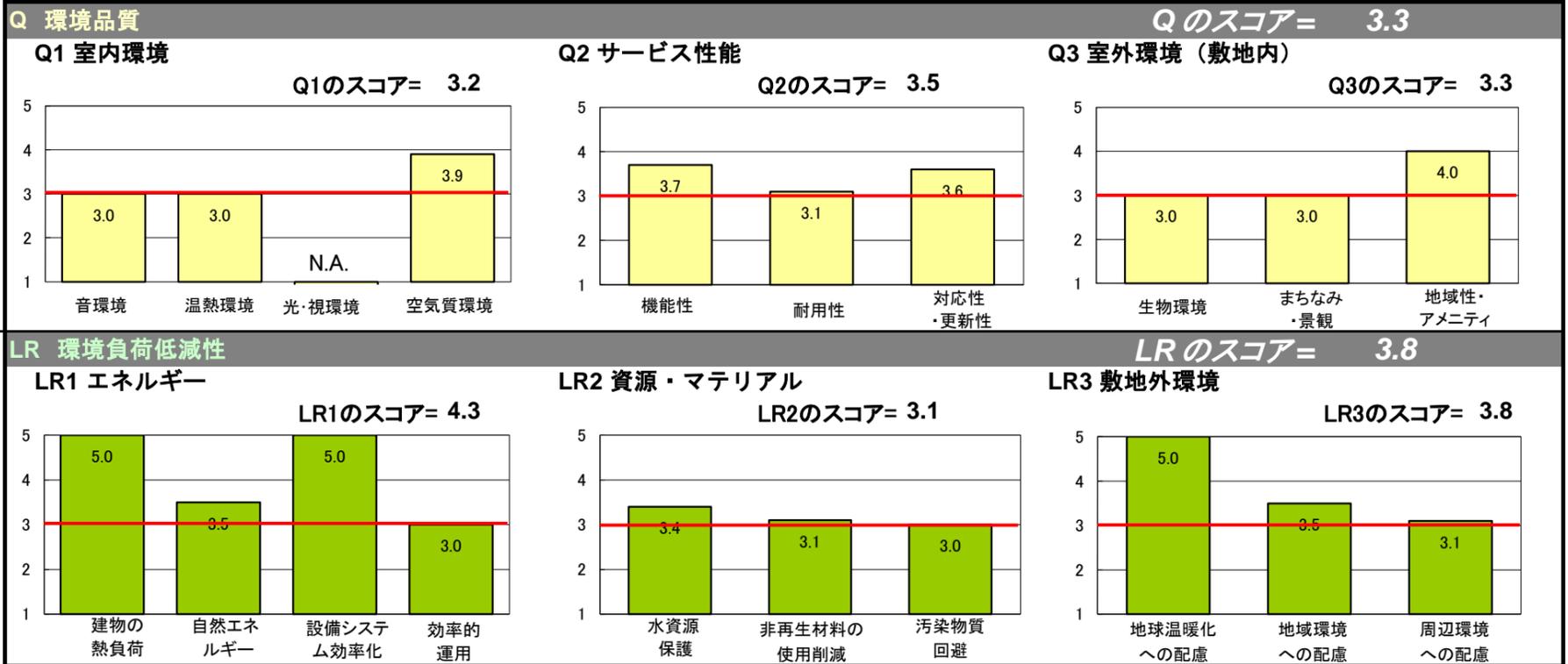
# 評価結果内訳

■使用評価マニュアル：CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築（簡易版）2008年版 使用評価ソフト：CASBEE新潟(v.1.2)

**2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)** | **2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)** | **2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)**



**2-4 中項目の評価 (バーチャート)**



**2-5 設計上の配慮事項**

<b>総合</b> 運動意欲を喚起する体育館 地域特性を生かした体育館 無駄がなくコンパクトな体育館	<b>その他</b>
<b>Q1 室内環境</b> アリーナは日差しを遮りつつ自然光を取り入れた明るく開放的なスポーツ空間にしました。 2階の外周を囲むランニングコースからは、緑の木々が垣間見え、楽しく走る様に配慮しました。	<b>Q2 サービス性能</b> 管理事務室は、南側エントランスに面し、敷地内に入ってくる利用者を確認する事が出来ます。受付カウンターからは、施設の主要な部屋が確認出来、立体遊具も目の前にあるため、管理が容易です。
<b>LR1 エネルギー</b> アリーナは日差しを遮りつつ自然光を取り入れた明るく開放的なスポーツ空間にしました為、日中の消費電力を下げる事が出来ます。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 水資源保護のため、節水型器具を採用しています。また、木毛セメント板を多く使い、資源に配慮しています。
	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 施設の周囲に駐車場を配し、循環出来るため、通常時のみならず、大会時にも対応出来ます。また施設周囲にはトリムコースを配し、外での運動を可能にしています。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 周囲の水田に対しては、稲の成育期間の日影を確認し、日中日影がない事を確認。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される